

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（福祉に関する事業：特別支援員教育支援員配置事業）					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市内小中学校					
補助事業の成果の目標	当市の障害者福祉計画において、妊娠、出産、乳幼児期から成人まで、障害がある人やその家族を取り巻くライフステージの変化に対して、早期発見、早期療育に向けた相談支援や生活支援などがより活用できる環境整備が必要としている。特に学校教育の中で、人と人がともに助け合い、支え合うことに積極的に取り組み、その心を育むため、支援を必要とする児童生徒の周辺におけるサポート体制の向上に努め、将来の福祉環境の充実を図る。					
補助事業の内容	富士吉田市内小中学校に在籍する支援を要する児童生徒への学校生活の支援や補助を行う。また、支援を要する児童生徒が属する学級がスムーズに運営できるよう、見守りと必要に応じた支援を行う。					
補助事業の始期及び終期	令和元年7月1日から令和2年3月3日まで					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	19,927,410				19,927,410
	交付金額	19,000,000				19,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>昨年度から、特別支援員を配置したことによる各校及び対象児童の保護者の意見等を聴取したところ、支援を要する児童生徒がより快適に学校生活を送ることができているとの結果であり、引き続き、在籍する学級のスムーズな運営に資することができた。</p> <p>また、当市教育委員会のホームページや特別支援教育支援員等の募集通知により、特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当している旨を周知している。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も引き続き、現在の特別支援教育支援員の配置が適正であるか否か、学校訪問を実施したり、各校及び対象児童生徒の家族からの意見を聴取し、必要に応じて配置計画等を立案し改善していく。</p> <p>また、各校において十分な支援員の配置ができるよう、学校の状況を確認していくとともに、新たな人員募集を含め支援員の人材確保に努める。</p>					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	外国語指導委託事業					
助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市立小中学校					
補助事業の成果の目標	小学校3・4年の外国語活動，小学校5・6年の外国語科，中学校の外国語科の全ての授業において，外国語指導教員ALTの派遣委託事業を行い英語でのコミュニケーションの力を高め、英語や他国の文化に関心を持たせ、本市児童生徒の学力の向上を図る。					
補助事業の内容	富士吉田市立小中学校における外国語指導のために外国語指導講師（ALT）9名の派遣業務を委託し，市内小中学校の外国語教育の充実と国際理解教育の推進を図る事業である。					
補助事業の始期及び終期	令和元年7月1日から令和2年3月23日					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 25,342,352				円 25,342,352
	交付金額	25,000,000				25,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>中学校への配置は継続しつつ新学習指導要領導入の移行措置として小学校3～6年生において15時間の外国語活動、外国語科授業増に対応して全ての授業にALTを配置することができた。また、全校においてALTが学級活動や学校行事などに年間を通じて積極的に参画し、児童生徒の異文化理解やコミュニケーション力の向上に多大な貢献があった。外国語活動や外国語科の目標に準拠した評価により、「慣れ親しみ」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読むこと」に関する達成状況を把握する。具体的には、活動観察，パフォーマンス評価，ペーパーテスト，意識調査等の評価方法を用いる。</p> <p>教育委員会のホームページ（教育研修所からのお知らせ）により，特定防衛施設周辺整備調整交付金が事業費に充てられる旨の周知を行った。</p>					
事前の改善措置及び今後の対応						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（医療に関する事業：生活習慣病対策【がん検診事業】）					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士北麓総合医療センター（富士吉田市緑ヶ丘2丁目7番21号） 富士吉田市環境美化センター（富士吉田市小明見3丁目11番32号）					
補助事業の成果の目標	本事業の実施により、地域住民の生活習慣病（がん疾患等）への対策を行うことができ、疾病等の早期発見ができて早期治療につながられ、住民の健康増進を図る。					
補助事業の内容	健康増進法及びがん対策基本法に基づく各種がん検診委託					
補助事業の始期及び終期	令和元年7月から令和2年2月まで					
事業費及び交付金額		R元年度				計
		円				円
	事業費	32,457,263				32,457,263
	交付金額	29,000,000				29,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>令和元年度は、市民から要望の多かった土日の検診日や乳がん検診日の増加、新たに子宮がん検診の集団検診を行うため、検診委託機関を1カ所追加（2カ所→3カ所）し、市内の出張検診を実施するなど受診しやすい環境を整えた。また、健康ポイントラリー事業で検診の受診を参加の必須条件としたり、年間を通じて周知のため多くの市民が目に見えるよう広報やHP、FB等を活用したり、国保担当と協力して年2回の戸別訪問やハガキや電話でのアプローチを実施したりして受診につながるようにしたことによって、半数以上のがん検診で受診率が上がった。</p> <p><各種がん検診受診率>（H30年度の割合⇒R1年度の割合で表記） 肺がん検診（H30：6.3%⇒R1：7.0%）、大腸がん検診（6.8%⇒7.3%）、 胃がん検診（バリウム検査3.7%⇒3.1%）（血液検査5.4%⇒7.0%）、 肝がん検診（5.8%⇒5.9%）、肝臓硬度測定（36.2%⇒41.5%）、 前立腺がん検診（5.9%⇒6.1%）、乳がん検診（5.6%⇒6.7%）、 子宮がん検診（7.0%⇒6.3%）</p> <p>なお、広報及びHP、検診ポスターにて特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当している旨を記載して周知した。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も引き続きこの体制を継続できるようにしていく。					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共施設（医療施設：医療機器）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市立病院						
補助事業の成果の目標	最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。						
補助事業の内容	手術台 一式 眼科手術用顕微鏡 一式 眼科用手術台 一式 内視鏡手術システム 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年6月から令和元年10月まで						
事業費及び交付金額		1年度					計
	事業費	60,886,400					60,886,400
	交付金額	55,000,000					55,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>医療機器を更新したことにより、年間の故障回数が0回と減少したため、故障等の発生リスクが排除された。</p> <p>また、最新鋭の医療機器が整備されたことにより、地域住民へ安定した質の高い医療の提供を行うことができた。</p> <p>整備状況について、令和2年2月号広報や当院ホームページにて、手術台、眼科手術用顕微鏡、眼科用手術台、内視鏡手術システムの概略及び防衛省の交付金にて整備したことを掲載し、周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：富士見町明見線）排水路整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市下吉田地内						
補助事業の成果の目標	<p>富士見町明見線排水路は、国道139号（富士見バイパス）から国道139号（富士みち）を繋ぐ市道に沿って設置されているが、施工から30年以上経過していることから、経年劣化による排水路蓋や躯体の損傷が著しく段差や隙間などが生じており周辺地域や路面排水の支障となっている。</p> <p>当該排水路は周辺農地への用水としても活用しているため、排水に問題が生じると農業への影響が懸念される状況である。</p> <p>また、周辺には小学校があり、排水路上は児童の通学路として利用しているが、排水路蓋の段差や隙間等により転倒するなどの危険があると周辺住民等から早急に改修するよう要望されていることから、本事業を整備することにより、生活環境の充実を図り快適な市民生活を確保する。</p>						
補助事業の内容	改良工事 L=363.4m						
補助事業の始期及び終期	令和元年11月から令和2年3月まで						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	円 45,036,200					円 45,036,200
	交付金額	32,500,000					32,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>損傷した側溝を改修したことにより、道路利用者の安全を確保することができた。また、用水路としての農地への利用が問題なく行われていることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 ・ 回覧板にて工事情報を周知 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民に事業の内容を周知し、快適な市民生活を確保するために実施していきたい。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西原3号線外1路線配水管工事(西吉田配水区)）整備事業				
補助事業者名	富士吉田市長				
実施場所	富士吉田市新西原地内				
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和50年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。				
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ100mm L=219.4m				
補助事業の始期及び終期	令和元年12月から令和2年3月まで				
事業費及び交付金額		令和元年度			計
	事業費	15,904,900			15,904,900
	交付金額	7,000,000			7,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。 今回整備したエリアで9件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。 立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。 				
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：中宿グランド線外1路線）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市上吉田地内						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線は舗装補修計画において優先度が高い路線である。また経年劣化により、路面のひびわれ損傷があり、ポットホールも多く発生している状況である。当該路線は大型車の通行もあり、走行性や安全性に支障をきたしているため、工事を実施するものである。</p> <p>当該路線の整備により、道路交通の充実に図り快適な市民生活を確保する。</p>						
補助事業の内容	舗装 L=1170.0m						
補助事業の始期及び終期	平成29年12月から令和2年1月まで						
事業費及び交付金額		H29年度	R元年度				計
	事業費	円 11,849,760	円 44,354,200				円 56,203,960
	交付金額	10,500,000	35,500,000				46,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>舗装補修の実施後、路面の平坦性の向上が確認され車両の走行性、安全性が確保できた。また路面排水の状態も改善した。</p> <p>本事業を実施したことで道路交通の充実に図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後、路面性状調査の対象路線として舗装の劣化状況を注視していく。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	鐘山体育館トレーニングルーム機器購入事業						
補助事業者名	富士吉田市						
実施場所	山梨県富士吉田市上吉田東9-4-18 鐘山総合体育館トレーニングルーム						
補助事業の成果の目標	<p>鐘山体育館トレーニングルームのトレーニング機器は、平成8年度の特定防衛施設周辺調整交付金により購入し、23年が経過し、耐用年数（10年）も過ぎている。現在はメンテナンスを実施しながら使用しているが、製造メーカーには部品在庫がなく、故障した場合は修理不能であるため、故障のリスク、安全面でのリスクが生じている。利用者数は、ここ数年右肩上がり増加していて、利用者からも機器の入れ替えの要望も多く寄せられている。</p> <p>また、限られたスペースを有効活用するためにも、トレーニング機器の入れ替えをおこない、多くの市民が利用できるトレーニングルームにリニューアルを実施する。トレーニング機器入替後は、トレーニング目的に応じた器具の使用方法などのポップを作成し、利用者の利便性の向上や、当該施設の指定管理をする富士吉田スポーツ協会により、トレーニング機器を利用した、スポーツ教室などを開催し、地域住民のスポーツ活動の振興や健康増進の充実を図ることを目的とする</p>						
補助事業の内容	トレーニング機器外 16台						
補助事業の始期及び終期	令和2年1月31日から令和2年3月13日						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	9,988,000					9,988,000
	交付金額	9,000,000					9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、6月1日より利用再開した。再開以降、ソーシャルディスタンスの確保による利用人数制限を設けているため、入替えの効果による利用人数の増加は見込めないが、利用者に対しての聞き取りで、ほとんどの世代から、操荷重を変える操作や、高さ調節がスムーズに出来るため、非常に使いやすくなりトレーニングの効果をを感じるようになったなど高い評価を受けている。</p> <p>地域住民への周知については、ホームページ、広報誌に防衛関係事業である旨の周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	特になし						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	活用無し						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食センター運営事業)								
補助事業者名	富士吉田市長								
実施場所	富士吉田市小明見三丁目6番1号								
補助事業の成果の目標	学校給食センターを安定的に運営することで、保育園児、児童及び生徒に対し、安心安全な給食を提供することを目標とする。								
補助事業の内容	保育園児、児童及び生徒に対して、安心安全な給食を提供するため、運営費を交付金対象とし、安定的に学校給食センターを運営するための基金の造成								
補助事業の始期及び終期	平成31年3月から令和4年3月まで								
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	事業費	円	円	円	円	円	円	円	
		0	32,281,079	30,770,440	30,770,440	0	0	0	
	基金造成額	交付金	60,000,000	0	0	0	0	0	0
		市町村費等	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	78,213	52,101	26,169	0	0	0
	計	60,000,000	78,213	52,101	26,169	0	0	0	
	基金処分額	0	20,000,000	20,000,000	20,156,483	0	0	0	
	基金残額	60,000,000	40,078,213	20,130,314	0	0	0	0	
								計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	円	
								93,821,959	
	基金造成額	交付金							60,000,000
市町村費等								0	
その他								0	
運用益								156,483	
計							60,156,483		
基金処分額							60,156,483		
基金残額							0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な給食を提供するために、業者からの報告書により調理食数及び衛生管理に則した業務運営を実施した。また、食物アレルギーの対応については「保護者面談記録表」などにより対応状況を確認した。 ・富士吉田市教育委員会ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せた。 ・毎月給食だよりと一緒に配布している献立表に防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せており、児童、生徒を通して保護者等に周知した。 								
事業の改善措置及び今後の対応									
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無									

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業 医療に関する事業：子育て応援医療費助成事業							
補助事業者名	富士吉田市長							
実施場所	富士吉田市下吉田6-1-1							
補助事業の成果の目標	我が国の年間の出生数は、第2次ベビーブーム以降、毎年減少を続け、近年まで緩やかな減少傾向となっている。 少子化の原因の一つとして子育てに対する経済負担の増加があることから、少子化対策の一環として、家庭の子育てにおける経済負担を軽減する目的で、乳幼児・児童（0歳～15歳）が病院などを利用した際の医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』を行うことで、市民にとって子育てし易く、住み良い環境を整える。 参考指標 平成30年度 医療費助成利用者（H31.3.31現在） ・利用人数 5,245人 ・利用件数 78,967件 ・総助成金額 163,484,710円							
補助事業の内容	乳幼児・児童が病院などにかかったときの医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』に係る基金造成事業							
補助事業の始期及び終期	平成24年2月から令和2年3月まで							
事業費及び交付金額		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		円	円	円	円	円	円	
	事業費	85,189,898	96,148,779	88,168,791	91,078,000	98,115,396	102,693,793	
	基金造成額	交付金	60,000,000	37,398,000	133,821,000	67,700,000	0	88,000,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	60,164	67,828	133,948	199,035	101,751
		計	60,000,000	37,458,164	133,888,828	67,833,948	199,035	88,101,751
	基金処分別	0	30,000,000	67,398,000	70,000,000	64,147,374	67,936,352	
	基金残額	60,000,000	67,458,164	133,948,992	131,782,940	67,834,601	88,000,000	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計	
		円	円	円	円	円	円	
	事業費	97,118,876	91,253,841	92,349,752	0	0	842,117,126	
	基金造成額	交付金	0	0	0	0	0	386,919,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
運用益		132,000	87,198	36,483	0	0	818,407	
計		132,000	87,198	36,483	0	0	387,737,407	
基金処分別	30,000,000	30,000,000	28,255,681	0	0	387,737,407		
基金残額	58,132,000	28,219,198	0	0	0	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費助成事業利用件数等を各年度と比較したところ、令和元年度については過年度と同等の利用状況がみられることから、子育てに対する経済的負担の軽減に寄与し、市民にとって子育てし易い住み良い環境を整備できた。 令和元年度 利用人数 5,153人 利用件数 80,663件 総助成金額 168,065,161円 ・富士吉田市ホームページの本事業の紹介ページ及び対象者に送付する子育て支援資格者証に防衛省関連補事業であることを記載した。 							
事業の改善措置及び今後の対応	住民への周知を徹底し、他の子育て関連事業との連携を検討するなど、市民にとって子育てし易く、住み良い環境を整えていく。							
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							